

# 耐候性試験による色差・光沢変化測定



色差・光沢はそのものの見た目を左右する重要な物性であるため、自動車製品や建築材料等の耐候性試験前後によく測定されます。その他にもインクや有機材料の劣化評価としても測定されます。  
JTLでは、外観変化評価の一つとして、耐候性試験前後の色差・光沢度の測定を一元対応可能です。

## 耐候性試験（キセノン）

太陽光の分光分布に最も近いキセノンランプを用い、屋外暴露と比較し20倍程度の促進試験が可能です。

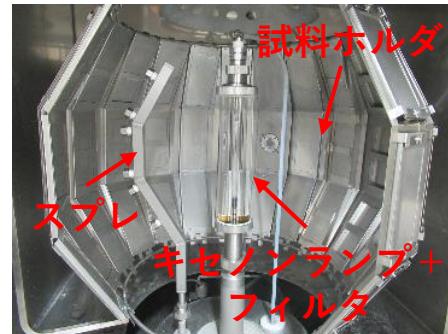
### ●装置スペック

放射照度（300～400nm）：60～180W/m<sup>2</sup>

試験項目：照射、照射+降雨、暗黒、暗黒+結露、暗黒+降雨・結露

温湿度範囲（照射試験時）：BPT50～95±1°C、湿度50～60±5%RH

試験片枚数（150\*70\*1mm）：51枚



〈槽内構造〉

## 色差・光沢度測定

【色差】試験片に光を照射し、反射光を分光して色差を測定します

【光沢】試験片に光を照射し、物体表面の鏡面反射光の度合いを測定します

### ●装置スペック

温度範囲：-70～180°C

湿度範囲：20～98%RH

### ●測定結果イメージ

〈試験前〉



〈試験後〉



### ●光沢

Gs60°	
試験前	試験後
85.0	4.4

(%)

### ●色差

項目	試験前	試験後	△E*
L*	73.71	75.87	
a*	-32.38	-29.60	3.82
b*	-20.12	-18.65	

### ▼お問い合わせ先はこちら

評価技術に関するご質問・ご相談はWebのお問い合わせフォームまで

<https://jtla.co.jp/contact/01/>